

令和5年度本校の全国学力・学習状況調査の結果について

山梨大学教育学部附属中学校 令和5年10月6日

はじめに

本校では、4月18日（火）に行われた全国学力・学習状況調査に、138名が参加した。今年度の調査では、国語、数学、英語の3教科と学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施した。

この調査は、本校生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導などに役立てることを目的としている。

本校でも各教科と質問紙調査の分析結果をまとめ、その概要を保護者の皆様に通知するとともに、本校ホームページにも掲載する。

なお、調査に参加した3年には個人票を配付したので、自分の結果を確認し、今後の学習に役立ててもらいたい。

1 本校の状況（全国との比較）

国語、数学、英語の3教科とも平均正答率は、全国平均を大きく上回り、正答率の散らばり具合も全国と比較すると極めて小さい。

[参考] 国公立を含めた全国平均正答率と公立中学校の山梨県平均正答率

	国語	数学	英語
全国平均正答率 (%)	69.8	51.0	46.1
山梨県平均正答率 (%)	70	50	43

2 本校の主な成果と課題

国語

○設問全体を通して、本校の正答率は全国と比較して高いものとなっている。すべての設問の正答率が、全国平均を上回っていることから、国語に関する基礎的な知識・技能を身につけるための指導を行ってきた成果と考える。

○問題形式では記述式の正答率が高く、「自らの考えをわかりやすく伝える工夫について記述する問題」の本校の正答率は高い。授業で扱う全ての領域の中で自分の考えをまとめたり、課題に対して多角的な視点で考えたり、判断したりすることが定着してきた成果だと考える。

△全国的に正答率が低くなっている設問については、本校でも正答率が低くなっている。課題となる設問は、「書くこと」の指導事項のうち、「読み手の立場に立って、叙述の仕方など確かめて、文章を整える力」を問う設問である。解答類型をみると、レポートに使われている語句を適切に捉え、読み手の立場にたって推敲することに課題が見られた。レポートに限らず、書く活動や推敲を行う際には、読み手を意識した表現を用いたり、意図を持って推敲したりすることを意識的に指導する必要がある。

△設問全体を通して、無解答の生徒がいた設問は、15問中7問であった。本校の無解答は、全国と比較すると低いものの、看過できない。日常の学習状況からは、基礎的、基本的な事項についての理解の高さと、既習事項を活用して問題を解決しようとする学習意欲の高さがみられるが、試験や発表となると消極的になる傾向がここでも表出したと考えられる。

数学

○数と式、図形、関数の領域における本校の正答率は高い。

○全国では無解答率が高かった問題において、本校の無解答率は極めて低い傾向にあり、選択式・短答式のみならず、記述式の問題においても全国を大きく下回っていた。内容に対する理解力と、何とかして問題を解決しようという意欲が、ともに高いことがうかがえる。

○全国的に記述式の問題における正答率は低くなる傾向が読み取れるが、本校では記述式の問題における正答率は選択式・短答式の問題と遜色ない。

△全国平均正答率よりも本校の正答率は高いが、図形の領域における正答率は他の領域と比較すると低い。特に「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる」ことに課題がある。

英語（話すこと）

○話すこと（やり取り）と話すこと（発表）の正答率は、どちらも全国の正答率に比べて高い。

○全国では無解答率が高かった問題において、本校の無解答率は極めて低かった。英語での問いに対して、その問いを理解し、何とか答えようとする意欲があることがうかがえる。

△話すこと（やり取り）が全国の正答率を大きく上回っていたのに対して、話すこと（発表）の正答率は全国を上回っているものの、話すこと（やり取り）と比較すると低い。このことから、相手から問われたことに対し、その質問の内容を理解して答えることはできるが、物事に対して、自分の考えや意見をまとまりのある英語で即座に述べることに對しては苦手意識のある生徒が多いことがうかがえる。

△観点で見ると、知識・技能と思考・判断・表現のどちらの正答率も、全国を上回っているが、両方を比較すると、知識・技能よりも思考・判断・表現の正答率の方が低い。

3 各教科における主な改善点

国語

*漢字の読み書きの学習を継続することに加え、生きて働く知識として言葉を身につけられるように、実生活や社会生活に応じた場面を具体的に設定して指導する。

*書写の指導を定期的に行い、行書の書き方や特徴について知識として身に付けるだけでなく、実際に書く場面を多くとり入れることで、知識の定着を図る。

*自分の意見を表現する場面において、読み手や聞き手を意識して表現することを指導する。

*自分やグループの意見を吟味したり、よりよい考えにするために粘り強く話し合わせたりする活動を通して、思考の過程、特に試行錯誤した過程を評価する。このことを通して、正解、不正解にこだわることなく、自分の考えを自信を持って表出できるような指導を行う。

数学

*正答を求めることだけに終始せず、数学的な見方・考え方を働かせられるように、数学的に探究する場面を日常的に取り入れる。

*身の回りにある事象を図形として捉え考察することを通して、空間における平面について理解を深められるようにする。特に身の回りにある事象から、空間において平面が一つに決まる条件を見だし、実感を伴って理解することができるよう指導する。また、事柄が成り立つことを証明できるようにするために、構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導を行う。

*自分の考え方をまとめたり、根拠を正確に表したり、方法を説明させたりする活動を意図的に組み込むことで、記述力を養う機会を充実させる。

英語（話すこと）

*社会的な話題に対して、自分自身の考えを持ち、英語で表現できるような活動を日常的に取り入れて指導を行う。

*自分の述べたいことを、まとまりのある英語で順序立てて述べられるよう、スピーチ等の活動を多く取り入れる。

*学んだ知識・技能を活用できるように、活動内容を熟考し、特に目的・場面・状況に配慮した活動を行えるようにする。そして、活動の中間指導等の機会を設け、学んだ知識・技能をどのような場面で活用できるのかデモンストレーション等を通じて生徒に示す。

4 質問紙調査の結果から

72の質問項目から、「全国平均と比較して、その差が大きいもの」は、次のとおりとなる。

*肯定的な回答とは、「当てはまる」または「どちらかという当てはまる」を合わせた回答。

*差が大きいもののうち、全国平均と比較して高いものは○で、低いものは△で表している。

【基本的生活習慣等】

○ 「朝食は毎日食べていますか」

○ 「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

【挑戦心, 達成感, 規範意識, 自己有用感等について】

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

- 「将来の夢や目標を持っていますか」
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

【学習習慣, 学習環境等】

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」
- 「読書は好きですか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」
- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」

これらの質問について、「4時間以上」と回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」
- 「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館、学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか」

これらの質問について、「全くしない」「ほとんど、または、全く行かない」と回答をした生徒は全国平均を大きく下回っている。

- △ 「新聞を読んでいますか」

この質問について、「ほとんど、または、全く読まない」と答えた生徒は全国平均より低い値であるが5割を超えている。

【ICTを活用した学習状況】

- 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」

この質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

- 「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超え、全国平均を大きく上回っている。

- 「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあつた教え方、教材、学習時間などになっていましたか」
- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」
- 「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」

これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

【総合的な学習の時間, 学級活動, 特別の教科道徳】

- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか」

- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」
 - 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
- これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超え、全国平均を大きく上回っている。

【学習に関する興味・関心や授業の理解度等（国語・数学・英語）】

- 「授業（国語、数学）の勉強は大切だと思いますか」
 - 「授業（国語、英語）の内容はよく分かりますか」
 - 「授業（数学、英語）で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」
 - 「国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」
 - 「英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」
- これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超え、全国平均を大きく上回っている。
- 「授業（国語、数学、英語）の勉強は好きですか」
 - 「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか」
 - 「国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか」
 - 「国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか」
 - 「授業（数学、英語）の内容はよく分かりますか」
 - 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」
 - 「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）」
 - 「1、2年生の時に受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」
 - 「英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか」
- これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。
- 「国語で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」
 - 「授業（国語、数学、英語）の勉強は大切だと思いますか」
 - 「数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。」
- これら質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

5 質問紙調査結果から見た改善点

本校には「人の役に立つ人間になりたいと思う」、「将来の夢や目標をもっている」、「自分でやると決めたことはやり遂げる」、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」など、自分自身の生き方に前向きな生徒が多くいる。また、規範意識、自己有用感とも高く、仲間とともに切磋琢磨しながら、落ち着いた生活をしている。そこで、生徒会活動や特別活動をととして主体的に活動し、成功や失敗の経験を学校生活に生かすことができるような取り組みをいっそう充実させることで、自らの手で未来を切り拓くことができる力をより高めたい。

新聞を読む生徒は、全国平均を大きく上回ってはいるものの、「全く読まない」と回答した生徒が過半数を超えている。今後も「教科横断的な幅広い話題が取り上げられる新聞」を教材として積極的に活用することを通し、社会に目を向けることのできる生徒の育成につなげたい。

授業に関しては、大多数の生徒が肯定的な解答をしており、一人一台端末の活用や授業改善が進んだ結果であるとみられる。今後もさらに効果的で質の高い教育活動を進めたい。

【保護者の皆様へ】

分析の結果より、本校生徒が学校生活に対して前向きに意欲的に生活している様子がうかがえます。今回の結果を参考にして、教職員一同、生徒一人ひとりが成長できる学校づくりを目指し努力する決意です。今後とも、附属中教育へのご理解とご協力をお願いいたします。